

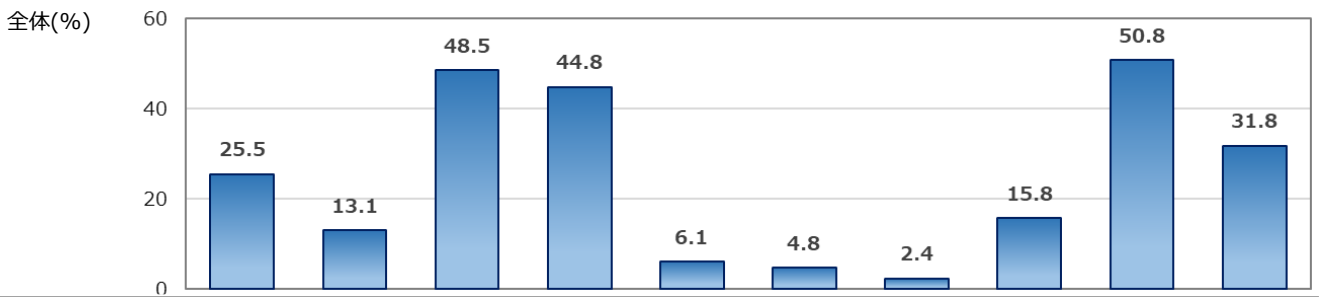
媒体接触、生活意識・行動、商品保有状況など  
民間では最大・最長の生活者実態調査データベースです。

## 災害時の備え、どうしてる？

9月1日は防災の日。1923年9月1日に関東大震災が発生したこと、また台風が多いとされる二百十日にちなんで制定されたといえます。地震や台風のみならず、最近は豪雨災害なども多く、皆さんも「何か備えなきゃ...」とは思っているものの、実際は？  
そんな調査結果をご紹介します。



Q 3 9 あなたはふだんから、地震や津波、風水害などの災害に対する対策や準備をしていますか。  
あなた、またはあなたのお宅であてはまるものがあれば、いくつでもけっこうですからお知らせください。



調査数	災害時の避難方法や連絡方法について、家族で話し合いをしている	災害時に備え、いつでもラジオを持ち出せるようにしている	地域の避難場所を知っている	各自治体が発行する「ハザードマップ」を見たことがある	地域の防災訓練に定期的に参加している	住まいの耐震補強工事を実施した・検討している	避難時マップを常に持っている	「特別警報」が出たら避難・避難準備をする心づもりをしている	災害が起こりそう、または起こったら、テレビをつける(みる)	災害が起こりそう、または起こったら、ネットやSNSをみる	
全体(7401)	7401	25.5	13.1	48.5	44.8	6.1	4.8	2.4	15.8	50.8	31.8
10代(666)	666	29.6	8.9	38.0	27.3	4.8	3.5	2.7	14.4	34.5	40.5
20代(1136)	1136	21.0	4.8	33.3	25.4	2.6	3.3	2.1	10.7	33.7	47.4
30代(1317)	1317	24.7	10.2	42.1	40.7	2.7	3.9	2.2	15.3	44.3	40.5
40代(1585)	1585	28.3	12.4	50.0	50.2	5.6	5.0	2.1	14.2	52.8	32.9
50代(1370)	1370	27.0	16.3	56.4	53.7	8.1	5.8	2.4	17.6	61.4	22.4
60代(1327)	1327	23.1	23.0	63.5	58.8	11.5	6.5	3.0	21.4	66.5	14.0

■ 全体比 + 5%以上 ■ 全体比 - 5%以下

全体では「災害が起こりそう、または起こったら、テレビをつける(みる)」が50.8%で最も高く、半数以上の方がテレビで情報収集を行うと回答。以降「地域の避難場所を知っている」48.5%、「各自治体が発行する『ハザードマップ』を見たことがある」44.8%と、スムーズな避難に備える回答が40%台で続きました。

年代別では、30代を境に情報収集元がインターネット中心とテレビ中心で分かれており、また若年層での避難場所やハザードマップの認知が低めであることから、若い層では自宅周辺で備えるよりもオンデマンドで情報を収集してその場に合わせた対応をする意識が見えてきます。

気になるのは「『特別警報』が出たら避難・避難準備をする心づもりをしている」が最も高い60代でも21.4%と低調なこと。避難場所を知っていても、実際に動く意識を持つ人は少なめなんですね。

皆さん、「防災の日」をきっかけに災害時の安全確保について考えてみませんか。

データ元 : JNNデータバンク全国調査 2021年11月実施  
男女年代別データ : 男女13~69歳 N=7,401

JNNデータバンク調査概要 <https://www.jds.ne.jp/database01j/>

企画・実施: JNNデータバンク運営委員会

販売: JDS 株式会社ジェーディーエス TEL: (03)3358-1601 URL: <https://jds.ne.jp/inquiry/>